

1. ITER/BA 成果報告会 2023

ITER/BA成果報告会2023「フュージョンエネルギーが拓くサステナブルな未来」が、核融合エネルギーフォーラムの主催により、量子科学技術研究開発機構（量研）及び自然科学研究機構核融合科学研究所の共催、電気事業連合会、日本原子力産業協会、日本電機工業会、プラズマ・核融合学会及び日本原子力学会の協賛、文部科学省及び外務省の後援のもと、東京都千代田区内幸町のイイノホールを会場として、2024年1月15日に開催された（図1）。ここでは、ITER計画とBA活動に関して、来賓挨拶、基調報告、特別講演及び技術報告、並びにパネル展示などをとおして、フュージョンエネルギーの実現に向けた最新の成果と進捗が紹介された。

佐和隆光核融合エネルギーフォーラム議長による開会の辞に続き、今枝宗一郎文部科学省文部科学副大臣、森英介自由民主党核融合エネルギー推進議員連盟会長、泉澤清次日本経済団体連合会副会長、むつ小川原開発推進委員会委員長、見學信一郎経済同友会エネルギー委員会委員長により、来賓挨拶が述べられた。

基調報告では、ITER機構のピエトロ・バラバスキ機構長及び鎌田裕副機構長による「ITERの建設状況」（ライブ中継）、馬場大輔文部科学省研究開発局研究開発戦略官（核融合・原子力国際協力担当）による「フュージョンエネルギー・イノベーション戦略について」、東島智量研那珂研究所副所長による「ITER計画及びJT-60SA統合試験運転の進展」、林巧量研六ヶ所研究所副所長による「BA活動の進展と原型炉に向けた核融合技術の社会実装」について、それぞれ報告が行われた。

特別講演では、國中均宇宙航空研究開発機構（JAXA）理事・宇宙科学研究所長による「はやぶさ2ははやぶさ2小惑星探査 ～イオンエンジンによる宇宙航行の実現～」と題する話題が提供された。

技術報告では、平井正明株式会社有沢製作所イノベーション推進本部成形材料開発部技術主査、羽田 賢輔京セラSOC株式会社第二技術部エキスパート、本多秀隆株

式会社クリハラントコンストラクション本部プラント事業部大阪プラント部JT-60SAプロジェクトグループリーダー、遠山喜克昌立工業株式会社代表取締役、渡邊亮栄DOWAエコシステム株式会社環境技術研究所長、廣瀬清慈古河電気工業株式会社研究開発本部超伝導製品部部長により、それぞれ報告が行われた。

最後に、江尻晶 ITER/BA 成果報告会・全体会合組織委員会委員長により、閉会挨拶が行われた。

パネル展示では、以下の24社より展示が行われるとともに、ITER計画及び幅広いアプローチ活動について量研より展示が行われた。株式会社アライドマテリアル、株式会社WELCON、株式会社化研、木村化工機株式会社、キャノン電子管デバイス株式会社、京都フュージョニアリング株式会社、金属技研株式会社、サエス・ゲッターズ・エス・ピー・エー、ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー株式会社、助川電気工業株式会社、田中貴金属工業株式会社、帝国イオン株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、東洋炭素株式会社、日揮グローバル株式会社、日本ガイシ株式会社、日本電信電話株式会社、株式会社日立製作所、株式会社 Helical Fusion、宝栄工業株式会社、マイクロ波化学株式会社、三菱重工業株式会社、三菱電機株式会社、大和合金株式会社（五十音順）

会場では380名の来場者を得るとともに、日本語及び英語の2チャンネルで実施されたYouTubeライブ配信ではあわせて約670回の視聴があり、フュージョンエネルギー開発の進展について幅広い周知、理解増進が行われた。

なお、下記に示すとおり、YouTubeライブ配信の動画はアーカイブとして継続して視聴できるので、ぜひご覧いただきたい。

＜アーカイブ動画＞

日本語チャンネル：

<https://www.youtube.com/watch?v=2UX7iOidjp8>

英語チャンネル：

<https://www.youtube.com/watch?v=eSJ7QyTuFjI>

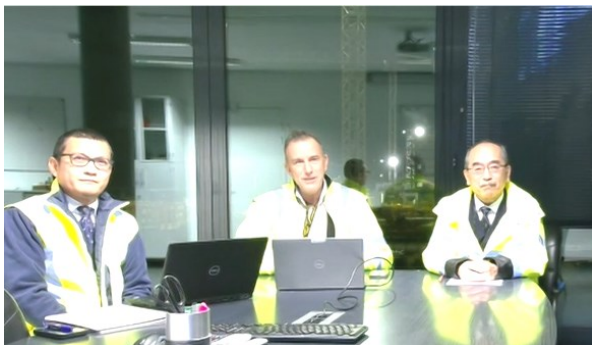


図1 ITER 機構からのライブ中継の様子。ピエトロ・バラバスキ機構長（中央）、鎌田裕副機構長（右）、大前敬祥首席戦略官（左）。

2. ITER 計画紹介マンガ Vol.6 の発行

量研はITER日本国内機関として、核融合やITER計画について、科学や工学に関する専門知識の有無に関係なく、幅広い年代の方々に知ってもらいたいという思いから、ITER 計画紹介マンガ“地上につくる小さな太陽「ITER（イーター）」”Vol.1（出会い編）、Vol.2（インタレンシップ編）、Vol.3（ものづくり・出港編）、Vol.4（旅立ち編）、Vol.5（ものづくり・日本の調達機器 ジャイロトロ）を制作している。

2024年1月、待望のVol.6～ものづくり・日本の調達機器 ダイバータ～（日本語版）を発行した（図2）。今回のストーリーは、学生時代にソレイユと知り合いITER

に魅了された主人公 太陽が量研の事務職員となり, 新入職員研修の見学ツアーに参加し, 那珂研究所で研究開発が行われている ITER の装置について学んでいく. 前号 Vol.5 では, ITER のプラズマを加熱する装置「ジャイロトロン」について学んだ. 今回は, プラズマ状態の維持に必要な不可欠な装置「ダイバータ」の研究開発施設を見学する.

ITER Japan Web サイトにて Vol.1 ~ 3, 5 の日本語版・英語版・フランス語版・プロヴァンス語版, Vol.4, 6 の日本語版を公開している. 今後は Vol.6 英語版の公開も予定しているので, ぜひご覧いただきたい.

(ITER 計画紹介マンガ: http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/comic/page1_1.html)

(量子科学技術研究開発機構 量子エネルギー部門)



図 2 ITER 計画紹介マンガ Vol.6 (日本語版).